

富士河口湖町立 教育センターだより

No.17

平成30年12月12日

文責 渡辺富美夫



富士山学習 体験学習プログラム さらなる充実に向けて 第4回研究会

12月6日(木)、第4回研究会が開催されました。今回の内容は、富士山学習授業と体験学習プログラムについてでした。

1 富士山学習授業実践について

センターだよりNo.15で、大石小学校4年の授業についてお知らせしました。その後、西浜小(志村輝美先生)、大嵐小(渡辺麻美先生)、富士豊茂小(小宮山万里先生)においても授業が行われました。

どの授業も、富士山科学研究所の三浦先生もしくは小俣先生と担任が役割分担して進められました。子どもたちは、富士山の姿の違いは成り立ちが関係していることや、河口湖新倉堀抜が作られた理由には富士山が大きくかかわっていることを学ぶことができました。



富士山科学研究所との連携授業

今年度は、このような富士山科学研究所との連携に限らず、すべての学校で充実した河口湖新倉堀抜の学習を実施しました。

今後の課題として、①富士山科学研究所との打ち合わせ(資料の確認や授業の進め方)の方法として、実施校合同でやる方法も考えられないか。②富士山アンケートで課題となった「文化遺産であることの認識」のため、6年等で文化遺産に関わる授業を検討していく。などの意見が出ました。

2 体験学習プログラムの実施について

今年度は、3種類のプログラムを実施後、担任からの意見感想をいただき、それをまとめました。

①役場・生涯学習館の見学→「丁寧な説明で、役場の仕事や、施設のことがよくわかった。」「日頃入ることができない議場や町長室に入ることができた。」「町長さんをはじめ、役場の方々子どもたちを大切に、やさしく対応してくださった。」「今後も体験学習プログラムとして実施していきたい。」がありました。課題として、「長くならないように時間配分の打ち合わせをする。」が挙げられました。

②木工教室(3年、4年)→「指導者が多く、丁寧な指導が受けられることが良い。(技術面、安全面)」「材料が豊富で工夫した作品が作成できる。」「他校と交流ができて良い。(小規模校)」等がありました。

③堀抜学習→今年度から始まったプログラムですが、「史跡館や、東電放水路や県庁隧道等の見学ができ大変良かった。」「それぞれの場所で説明がきけて良かった。」「富士山科学研究所と連携して行う形でできた」「ワークシート等資料が整っていて良い。」など出ました。改善点として、「見学コースに合ったワークシートの改善。」「富士山科学研究所との連携授業のための打合せの在り方。」が挙げられました。また、「担任の事前研修」「資料の充実」等について検討していくことが出されました。



河口湖新倉堀抜史跡館見学

研究会での意見やアンケートを受けて、富士山学習や体験プログラムをさらに充実していきたいと思えます。